



作成 2021年12月 1日

 茅野商工会議所

目 次

① 環境方針.....	1
② 組織の概要.....	2
③ 認証・登録の対象組織・活動.....	3
④ 実施体制図.....	4
⑤ 環境負荷の実績（基準年度）	5
⑥ 環境目標とその実績（活動期間）	6
⑦ 環境活動計画及び取組結果とその評価.....	7
⑧ 今後の取組内容.....	8
⑨ 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並び に違反、訴訟の有無	9
⑩ 代表者による全体の評価と見直し.....	10

環 境 方 針

基本理念

茅野商工会議所は、茅野市の産業・経済の振興を目的として、地域社会の発展と福祉の向上に貢献すると共に、八ヶ岳の裾野に広がる恵まれた自然環境を守り、将来にわたって維持されることが最重要課題の一つである事を認識し、持続可能な循環型社会の構築に向けて、全役職員が一体となって積極的に環境の保全や負荷の低減に努めます。

方 針

茅野商工会議所は、事業活動及びサービスにより生じる環境負荷を低減するために、以下の事項について、環境目標・環境活動計画を定め、環境経営活動を推進して環境との調和を目指します。

1. よりよい環境水準を目指した活動（適宜見直しを行います。）
 - （１） 二酸化炭素排出量の削減
 - （２） 廃棄物排出量の削減及びリサイクルの促進
 - （３） 水使用量の削減
 - （４） 紙使用量の削減
 - （５） グリーン購入の促進
 - （６） 会員サービスの向上
2. 環境関連法規及び当所が同意した事項を遵守します。
3. 職員に対して環境教育を実践します。
4. 会員企業へ環境活動の啓発を推進し、エコアクション21を推奨すると共に、認証・取得を支援します。

この環境方針は、全職員に周知すると共に、会議所ニュース・ホームページなどにより開示し、啓発活動に努めます。

制定日 2010年 6月10日

改定日 2014年12月26日

茅野商工会議所
専務理事 守屋 正光

○組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
茅野商工会議所
専務理事 守屋 正光

- (2) 所在地
長野県茅野市塚原1丁目3番20号



- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先（2020年4月1日～2021年3月31日）
- | | | | |
|-----|--------------|-------|------------------|
| 責任者 | 事務局長 | 山岸 進 | TEL：0266-72-2800 |
| 担当者 | 事務局次長・総務振興課長 | 山本 敦 | TEL：0266-72-2800 |
| 担当者 | 経営支援課 | 高柳 麻美 | TEL：0266-72-2800 |
| 担当者 | 総務振興課 | 矢崎美喜子 | TEL：0266-72-2800 |

- (4) 事業内容
茅野市内の商工業振興・発展に関する事業活動

- (5) 事業の規模
- | | |
|-----|-------------------|
| 会員数 | 1, 349社 |
| 収入額 | 1億2千万円 |
| 事務局 | 役員（専務理事）1名 職員 11名 |

茅野商工会議所会館（延べ床面積：1, 804㎡）	
場所	名称
1階	（テナント）長野証券株式会社茅野営業所 （テナント）自衛隊長野地方協力本部諏訪地域事務所 （テナント）茅野・産業振興プラザ
2階	茅野商工会議所 会員交流ラウンジ
3階	役員会議室 A 役員会議室 B 301会議室 302会議室（諏訪広域専門指導員事務室） （テナント）株式会社アーバンテック （テナント）アクサ生命保険株式会社諏訪営業所茅野分室
4階	大会議室 （テナント）茅野ライオンズクラブ

※ 茅野商工会議所会館には上記の5つの企業・団体等がテナントとして入居しております。5つのテナントについてはエコアクション21の活動の対象範囲外としておりますが、当所の認証取得のために、参加、協力を得ています。

- (6) 事業年度 4月～3月

○ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 茅野商工会議所

活 動： 商工会議所法に基づく地域経済団体として茅野市内における商工業の総合的改善発達を図り、もって商工業の発展に寄与する。

- ・ 商工業の振興
- ・ 小規模事業者に対する経営支援
- ・ 地域振興事業
- ・ 商工業に関する技能検定
- ・ 商工業に関する証明、輸出品の原産地証明
- ・ 商工業に関する情報の収集と提供
- ・ 会員企業の福祉増進
- ・ 行政庁への意見具申・建議

令和2年度（2020年度）の主な事業活動



テイクアウトちの事業
(R2. 5)



茅野市プレミアム付商品券事業
(R2. 7)



女性会フードドライブ事業
(R2. 8. 7)



医療関係者への感謝の思い
エール花火
【写真長野日報社提供】
(R2. 8. 8)



理科大応援プロジェクト始動
【長野日報社写真提供】
(R3. 2)

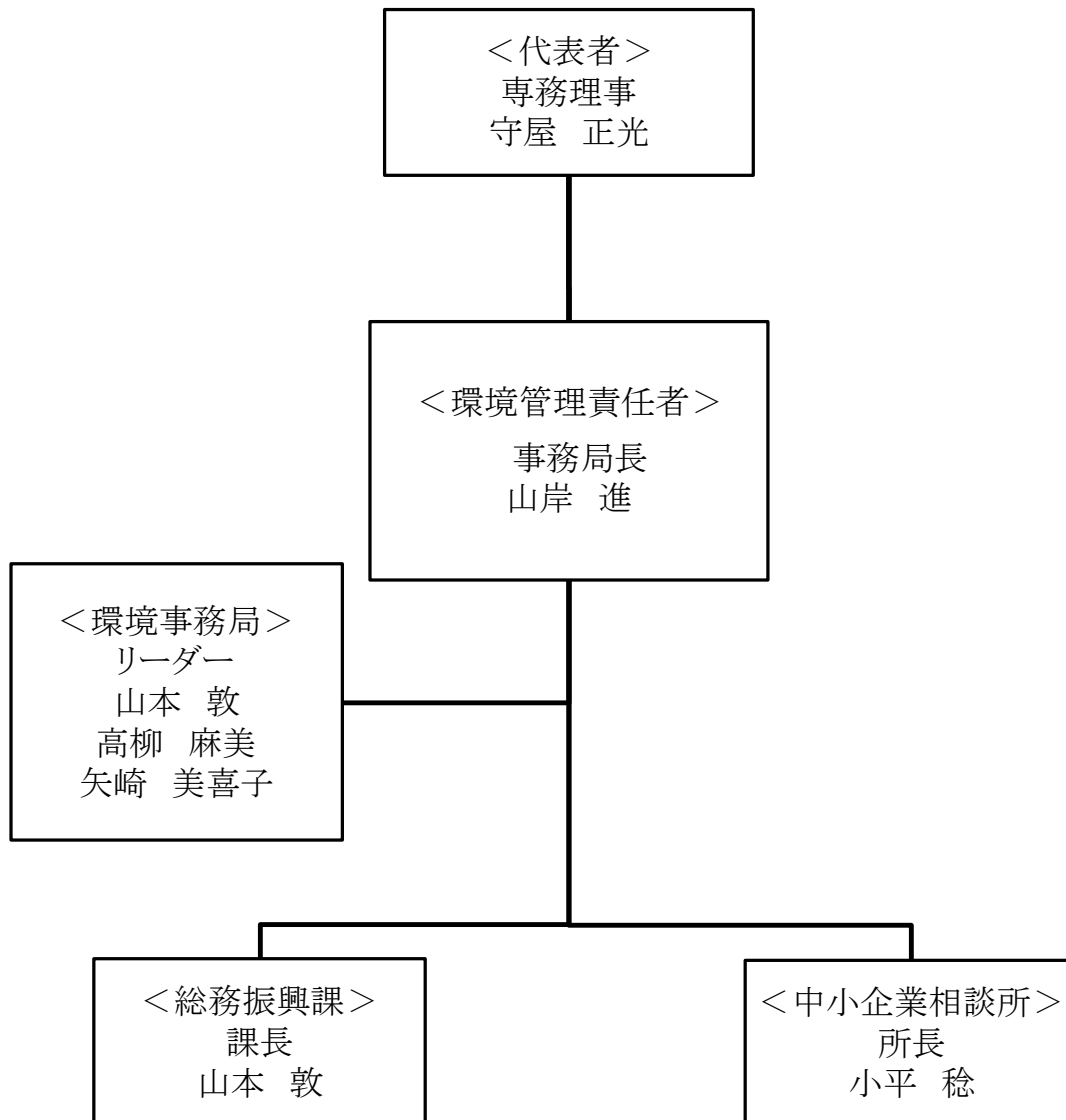


テイクアウトマップ制作
(R3. 3)

作成者：高柳 麻美
更新日：2019年5月1日

作成日：2010年7月8日
更新日：2011年5月16日
更新日：2012年4月2日
更新日：2014年4月1日
更新日：2014年12月26日
更新日：2015年7月21日
更新日：2016年10月1日

茅野商工会議所 実施体制図



○環境負荷の実績（基準年度）

環境への負荷			単位	2009 年度
①	温室効果ガス排出量	合計	Kg-CO ₂	51,625
	二酸化炭素排出量	合計	Kg-CO ₂	51,625
	電力 (0.378 Kg-CO ₂ /kwh)		Kg-CO ₂	28,924
	化石燃料	小計	Kg-CO ₂	22,701
	灯油		Kg-CO ₂	16,307
	液化石油ガス(LPG)		Kg-CO ₂	294
	ガソリン		Kg-CO ₂	6,100
②	廃棄物等総排出量	合計	k g	4,096.63
	一般廃棄物	小計	k g	4,096.63
	産業廃棄物	小計	k g	0
③	総排水量及び水使用量			
-1	総排水量			
	下水道		m ³	380
-2	水使用量			
	上水		m ³	380
④	コピー用紙使用量		k g	865.85

○環境目標とその実績

環境方針 (キーワード)	環境目標 項目	基準	単位	内容	2009年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2019年度	
					(基準年度)	(本年度)	(1年後)	(2年後)	(3年後)	(4年後)	(前年度)	
二酸化炭素排出量の削減	電力	使用量	kWh	目標	---	72,692	72,692	72,692	72,692	72,692	72,692	
				実績	76,518	71,260					64,165	
		排出量	kg-CO2	目標	---	29,876	29,876	29,876	29,876	29,876	29,876	
				実績	28,924	29,288					26,372	
		使用量および排出量	基準年度比 目標値に対する実績値	---	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	2020年度の 対前年度比		
				---	98.0%					111.2%		
		灯油	使用量	ℓ	目標	---	6,282	6,282	6,282	6,282	6,282	6,282
					実績	6,544	0					0
	排出量		kg-CO2	目標	---	15,655	15,655	15,655	15,655	15,655	15,655	
				実績	16,307	0					0	
	使用量および排出量		基準年度比 目標値に対する実績値	---	96%	96%	96%	96%	96%	2020年度の 対前年度比		
				---	0.0%					0.0%		
	液化石油ガス (LPG)		使用量	kg	目標	---	78	78	78	78	78	78
					実績	98	32					38
		排出量	kg-CO2	目標	---	235	235	235	235	235	235	
				実績	294	95					113	
		使用量および排出量	基準年度比 目標値に対する実績値	---	80%	80%	80%	80%	80%	2020年度の 対前年度比		
				---	40.4%					84.1%		
		ガソリン	使用量	ℓ	目標	---	2,548	2,548	2,548	2,548	2,548	2,548
					実績	2,627	921					1,375
	排出量		kg-CO2	目標	---	5,917	5,917	5,917	5,917	5,917	5,917	
				実績	6,100	2,139					3,192	
	使用量および排出量		基準年度比 目標値に対する実績値	---	97%	97%	97%	97%	97%	2020年度の 対前年度比		
				---	36.1%					67.0%		
	合計値		排出量	kg-CO2	目標	---	51,683	51,683	51,683	51,683	51,683	51,683
					実績	51,625	31,522					29,677
		目標基準年度比		---	100.1%	100.1%	100.1%	100.1%	100.1%	2020年度の 対前年度比		
目標値に対する実績値		---		61.0%					106.2%			
廃棄物の削減	排出量の削減 及びリサイクルの促進	排出量	kg	目標	---	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	
				実績	4,097	1,272					1,451	
			目標基準年度比		---	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	2020年度の 対前年度比	
			目標値に対する実績値		---	51.7%					87.7%	
水使用量の削減	節水の徹底	使用量	m³	目標	---	346	346	346	346	346	346	
				実績	380	285					299	
			目標基準年度比		---	91.1%	91.1%	91.1%	91.1%	91.1%	2020年度の 対前年度比	
			目標値に対する実績値		---	82.4%					95.3%	
紙使用量の削減	コピー用紙の 節約及び有効活用	使用量	kg	目標	---	623	623	623	623	623	623	
				実績	866	629					547	
			目標基準年度比		---	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	72.0%	2020年度の 対前年度比	
			目標値に対する実績値		---	101.0%					115.0%	
会員サービス	指導員訪問件数	活動量	件	目標		1680	1680	1680	1680	1680	1680	
				実績		2204					1794	
			目標値に対する実績値			131.2%					2020年度は 122.8%	

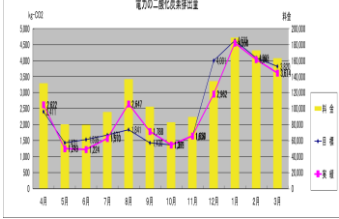
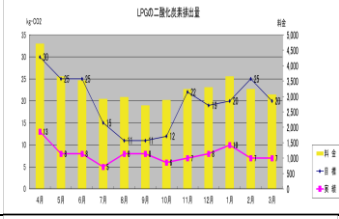
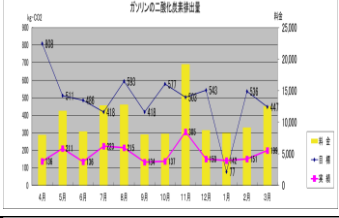
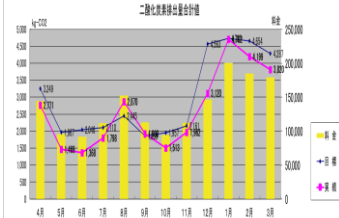
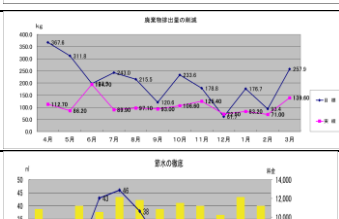
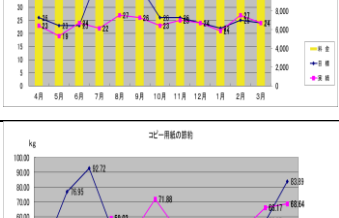
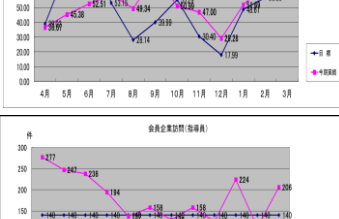
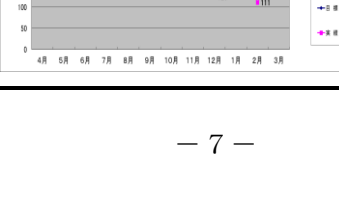
電力の二酸化炭素排出係数

電気事業者別排出係数 平成27年度実績・H28. 12. 27公表 丸紅新電力㈱ 0.411kg-co2/kwh 使用

会員事業所への環境活動の啓発推進：令和3年1月15日メルマガ送信

エコアクション21オンラインセミナー (R3.2.18開催)

○環境活動計画及び取組結果とその評価

環境方針 (キートン)	環境目標項目	実 績	評 価	判定	課 題
二酸化炭素 排出量の 削減	達成手段 電 力	 電力の二酸化炭素排出量	職員が意識して照明等の節電に努めている。会館の電球をLED化にする取り組みを継続的に実施している。空調設備をエアコンに替え、始動が集中しないよう稼働させ、目標達成した。各部屋で細かい温度管理を更に徹底する。	○	節電意識は高まりつつあるため継続的な活動が重要。蛍光灯を順次省エネタイプに入れ替えていく。エアコン導入で、各部屋で温度管理ができるが、コロナ対応の相談会等での利用が多く、前年対比では上回っている。数年は傾向を見たい。
	灯 油				エアコンによる暖房のため、ストーブの利用はエアコン不調や停電などの緊急時に限定。 その際の備蓄として灯油を管理していく。
	液化石油ガス (L P G)	 LPGの二酸化炭素排出量	継続してお湯を使用しない時はガス栓を閉めることを徹底する。目標を達成できており、対前年比でも下回っている。コロナ禍で会議も少なく、お湯を沸かす機会も少ないと思われる。	○	夏場のガスの元栓を締める、冬場の使用量を抑えるなどの活動を今後も継続し、現状維持に努める。
	ガソリン	 ガソリンの二酸化炭素排出量	以前に職員会議で実施したエコドライブの勉強会資料の成果が出ている。また、イベント、出張等の中止やリモート会議等への対応で、車の利用が減少していることなどを含めて目標達成となる。	○	近い所への移動は車の利用を控える。冬場の暖房はエアコンを切り、熱気の送風とし、アイドリングストップ、エコドライブに心掛け、効率的な企業訪問をする。また、エコタイヤ装着への切り替えを継続する。
	合 計 値	 二酸化炭素排出量合計値	二酸化炭素総排出量の目標値、51,683kg-CO2に対して、実績値31,522kg-CO2と39%減で目標達成となる。エアコンへの切替え効果や、コロナ禍による振興事業縮小の影響が大きいと思われるが、各自意識して取り組んでいる。継続して活動強化する。	○	二酸化炭素の総排出量の目標は達成しているが、対前年では6%上回っている。相談室の利用増とエアコン稼働によるものが大きいと思われるので、一時集中しないように温度調整、稼働数に注意する。
	排出量の削減及びリサイクルの促進 廃棄物と資源物の分別を徹底 (茅野市のルールである9種類17分別の遵守)	 廃棄物分別量の削減	分別の意識が定着し目標を達成できた。 今後も継続して活動に取り組む。	○	コロナ禍による振興事業縮小も考えられるが、これまでの活動を継続し、現状維持に努める。
水使用量の 削減	節水の徹底	 室水の節水	目標値346㎡に対して実績値285㎡と目標達成、対前年でも下回っている。コロナ禍で湯茶等の提供手控えも要因と思われるが、引き続き、節水の意識向上を心がけ活動の継続に努める。	○	節水に対する意識は高まりつつあるため活動を継続する。水道管の水漏れなど設備老朽化対策として、使用量の管理を徹底しながら、設備のメンテナンスも検討する。
	トイレ、給湯室での節水を徹底				
紙使用量の 削減	コピー用紙の節約及び有効活用	 コピー用紙の削減	微量であるが目標オーバーとなる。また、対前年では15%オーバーとなる。振興事業縮小に対し相談業務は多く、補助金要綱、計画書等の書類作成が要因と考えられるが、支援の一環である。	×	経営支援の重要な内容に付随するものであるが、大量印刷時の余分を減らし、両面印刷、印刷ミス削減で印刷量削減の取り組みを強化するとともに職員間はデータでの連絡を強化する。印刷内容の把握を検討する。
	両面印刷・裏紙使用の徹底 印刷ミスの防止 紙資料の電子データ保存 通知資料のFAX化、メール化推進				
会員企業 巡回件数	会員サービス向上・巡回件数	 会員企業訪問(巡回件数)	経営指導員1人当たりの巡回訪問や、窓口、電話での支援件数を35件/月と設定し取り組みを実施。目標件数1680件/年に対して204件/年と目標達成。	○	コロナ禍による経営相談を中心に、補助金申請支援等の需要が多く、感染対策をしながら巡回、窓口相談等に対応していく。効率良く質の高い経営支援体制づくりを目指す。
	本来業務の取り組みを活動に反映させる。指標としては、会員サービス向上に繋がる巡回件数を設定する。				

○今後の取組内容

1. 電 力

- ・ 館内の照明を省エネタイプ（L E Dなど）の物に順次取り換えていく。
- ・ 事務所や会議室のお昼休み・帰宅時の消灯や事務所に無駄に残らないよう徹底する。
- ・ 夏場や厳冬期に業務効率が落ちない程度にエアコンの稼働時間削減と室温管理を行うとともに、稼働が一時的に集中しないように努め、使用量のデータをとる。

2. 灯 油

- ・ ボイラーを廃止し、エアコン設置により、ストーブの利用については、エアコン不調や停電時に限定されたため、緊急時のストックとして灯油を管理していく。
- ・ ストーブについても停電時に電池で稼働できるタイプの機種、又は発電機を検討する。

3. 液化石油ガス（L P G）

- ・ お湯を沸かしすぎない、湯沸かし器の適正温度による使用、夏場のガスの元栓を締めるなどの活動を継続し、現状維持に努める。

4. ガソリン

- ・ 近い所への移動時には車を使わないよう心掛ける。余裕をもって行動する。
- ・ 車の夏場のエアコン使用を適温で利用する。
- ・ エコドライブ、アイドリングストップ、法定速度の遵守などを徹底する。
- ・ 企業訪問などの巡回時には、効率的な道順に従って運転する。
- ・ エコタイヤの導入を推進する。

5. 廃棄物の削減及びリサイクルの促進

- ・ 燃えるゴミの減量化、紙類の資源化の徹底など、5 S活動とも連携を図りながら活動を継続し、目標を達成している現状維持に努める。

6. 節水の徹底

- ・ 節水に対する意識は高まっているため継続した活動を実施する。さらに、設備の老朽化対策として、定期的な水の使用量の管理を行い、定期的な点検を実施する。

7. コピー用紙の節約及び有効活用

- ・ 大量印刷の際の余分な印刷の削減や印刷ミス削減の取り組みを実施する。
- ・ 会議で配布する資料を減らす代わりに、スクリーンに映写して会議をするなどの取り組みも継続する。

8. 事務用品のグリーン購入

- ・ エコマークが付いていない商品から先に使用して入れ替えを進め、グリーン購入対象商品の比率を高めていく。

9. 会員サービス

- ・ 会員企業への質の高い経営支援を巡回や窓口相談により効率的に実施することで、会員サービスの向上を図る。さらに、SDG s 等、会員事業所が環境経営の意識を高められる活動を継続して実施する。

○環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

当所は、環境管理責任者 山岸 進 が責任者となり、当所に適用される環境関連法規制等のチェックを2020年5月8日に行ない、今期（および過去3年間）違反・訴訟等はありませんでした。また環境問題に関して関係機関及び近隣住民からのクレームも発生しておりませんでした。

当所の事業に適用される環境関連法規制等は、下記の通りです。

適用される法規制等要求事項

法規制等の名称	該当する要求事項	関連条例による規制	評価
廃棄物処理法	廃棄物と資源物の分別を徹底	茅野市のルールである 9種類 17 分別の遵守	○
破棄物処理法施行令	水銀使用製品の分別、廃棄処理の委託		○
フロン排出抑制法	空調機器の適正管理		○
P C B 廃棄物特別措置法	ポリ塩化ビフェニル廃棄物		○
消防法	火災、地震その他の災害の予防と人命の安全、被害の軽減を図ること	当所会館消防計画の遵守	○
自動車リサイクル法	自動車所有者の責務		○
家電リサイクル法	テレビ・冷蔵庫の廃棄		○

○代表者による全体の評価と見直し

1、環境活動の取り組み 全体の評価

2020年度エコアクション21環境活動結果は、二酸化炭素排出量合計値が目標値に対して実績値61.0%となり目標達成。(目標値から灯油のCO2排出量を差し引いても目標達成しています)し、対前年比では106.2%となり、電力におけるCO2排出量は前年を上回りました。エアコンの稼働数、一時に始動が集中しないよう調整を行っていますが、相談業務を中心とした部屋の利用が多いことが要因と考えられ、これは必要な業務の結果と受け取っています。また、コピー紙も微量ではありますが目標オーバーしました。新型コロナウイルスに関する補助金要綱の提供、事業計画書作成等、支援が充実したものとしてとらえる中、全体として年間では目標達成しました。二酸化炭素削減に対する職員の意識は高まり活動は定着してきております。働き方改革推進の一環で導入しているフレックスタイム制による勤務時間の幅や、会議室の利用状況を考慮しながら目標達成に向け、来年度も改善を継続して進めて行きます。

当所の環境経営を含めたこれらの取組は、SDGs 国際目標にも沿うものであることから当該趣旨に賛同し、過大な負荷のかからない範囲で引き続き出来ることから少しずつ取り組みを進めてまいります。

最後に、所内の活動に留まらず、会員事業所の環境経営の意識付けを行うための支援を継続して実施して参ります。

2、全体の見直し（今後の課題）

2019年5月からエアコン設置により空調管理がしやすい状況となり、電気使用量のデータをとっている最中にコロナ禍となりました。減少する振興事業の一方で、個別相談などは会議室の利用が多く、普段の状況を反映する数値をとるには数年かかると考えられますが、温度管理や室温調整を行いながら改善活動を行っていききたいと思います。

あわせて、所内の自主活動とエコアクション21の活動を連動させて改善活動を推進し「本来業務の改善」を更に進め、SDGsの長野県への登録も検討します。

又、日本商工会議所環境アクションプラン構想に基づき、当所では本エコアクション21の取り組み経験を基本とし、省エネ視点を加味した経営改善や生産性向上を図る支援推進ができるよう日商構想事業への参画を検討したいと思います。

茅野商工会議所
専務理事 守屋 正光